

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

別紙 2(視点 2: バランスのとれた省エネルギー手法の導入) 2012.11.21 版

以下の各質問につき、空欄に必要事項を記入して下さい。なお、資料を添付する場合は資料に「別 2-3」から始まる通しのページ番号（「別 2-3」「別 2-4」…）を振って下さい。

1. 省エネ設備・再生可能エネルギー利用について

本住宅シリーズにおいて、「住宅事業建築主の判断基準」で評価できない省エネルギー設備機器や再生可能エネルギー利用設備等を**標準で**採用している場合、その設備機器の概要・仕様・効果等がわかる資料を A4（両面可）2 枚以内で添付して下さい。

2. 建築的手法による省エネについて

本住宅シリーズにおいて、設備機器によらず設計の工夫など建築的手法で省エネルギーを図っている場合、その手法の概要・効果等がわかる資料を A4（両面可）2 枚以内で添付して下さい。

3. 気密性の担保

本住宅シリーズにおいて気密測定を実施している場合、下欄に数値を記入して下さい。

測定を実施する物件の割合	:	_____ %
相当隙間面積の平均値（概算）	:	_____ cm ² /m ²

4. 性能表示・長期優良住宅制度の利用

本住宅シリーズにおいて性能表示（省エネルギー対策等級Ⅳ）や、長期優良住宅認定を取得している場合、過去の総取得件数および割合を記入して下さい。

性能表示（省エネルギー対策等級Ⅳ）取得件数・割合	:	_____ 件（ _____ %）
長期優良住宅認定取得件数・割合	:	_____ 件（ _____ %）

5. 外観・内観写真

応募する住宅シリーズの典型的な外観デザインの物件の写真を A4 用紙（両面可）2 枚以内で添付して下さい。

内観および設備等の写真は任意としますが、提出する場合は同じく A4 用紙（両面可）2 枚以内で印刷・添付して下さい。

※添付する写真には、個人情報（表札、住所等）が写り込まないように注意して下さい。

6. その他省エネルギー性の向上・維持・担保等が見込める取り組み

本住宅シリーズにおいて、ここまでに掲げた以外で省エネルギー・省 CO₂ などにつきその向上・維持・担保が見込める取り組み等を行っている場合、その概要・効果等がわかる資料を A4（両面可）2 枚以内で添付して下さい。